



HEADLINE

- (1) 4月のマネートピックス
- (2) 今月の金利情報
- (3) コラム～★FPのひとりごと★～
資産運用を考えよう!「お金を分けて管理する」
- (4) FPコバさんより
「HPにデータ集を作っています。」

●マネートピックス

- ◇08年度の国内新車販売、31年ぶりの低水準 (4月1日)
軽を含めて約470万台。前年割れは3年連続。購入・維持コストの安い軽自動車総販売台数に占める割合は38.5%と過去最高に。
- ◇G20金融サミット、世界経済回復への協調を打ち出す (4月2日)
IMFが予測する2010年「世界2%成長」実現のため、財政出動などあらゆる必要な行動をとること一致。
- ◇政府・与党、56兆円の追加経済対策を決定 (4月10日)
財政支出は15兆4000億円、事業規模は56兆8000億円でいずれも過去最大。雇用調整助成金の拡充、省エネ家電の購入や低燃費車への買い換えの補助、中小企業向け保証枠拡大、住宅援助のための贈与税減税など政策を総動員。財源を裏付ける09年度補正予算案とともに27日国会提出へ。
- ◇08年10月の都道府県別人口、40道府県で人口減少 (4月16日)
総務省発表の都道府県別、年齢別推計人口。65歳以上の老年人口が占める割合はすべての県で上昇。老年人口の前年比増加率トップは埼玉、次いで千葉、神奈川と都市部の高齢化加速が顕著。
- ◇省エネ家電購入のエコポイント、5月15日購入から適用 (4月21日)
経産、環境、総務3省発表。薄型テレビ、エアコン、冷蔵庫の3品目が対象。補正予算案成立前だが買い控えを考慮した措置。
- ◇08年度の貿易収支、7253億円の赤字～財務省 (4月22日)
第二次石油危機直後の1980年度以来、28年ぶりの赤字。世界経済悪化による自動車や半導体の輸出急減で輸出額は前年比16%減。一方、08年夏までの原油高騰などで輸入は4%減にとどまった。輸出依存の経済構造のもろさを露呈。
- ◇09年度のGDP実質成長率、マイナス3.3%～内閣府 (4月27日)
08年12月時点の実質ゼロから下方修正。7-9月以降は政府の追加経済対策の効果が表れ、成長率を1.9%押し上げると予測、民間予測よりもマイナス幅を小幅にみている。
- ◇米自動車3位のクライスラー、連邦破産法申請 (4月30日)
米政府の全面支援のもと、法的整理(日本の民事再生法に相当)を活用した再建を目指す。伊フィアットとの提携にも合意。

●金利データ

	2009年5月7日現在	前月比
政策金利(無担保コール翌日物)	0.10	→
公定歩合	0.30	→
短期プライムレート(都銀 最頻値)	1.475	→
長期プライムレート(みずほコーポレート銀)	2.30	+0.05

<主要国 政策金利>

米国FFレート(誘導目標値)	0.0~0.25	→
EU/ECB主要政策金利	1.25	▲0.25

※ECBは5月7日0.25%利下げを発表、1.00%に(13日から)

◆貯蓄

*年平均利回り

三菱東京UFJ銀行	普通預金		0.040	→	
	貯蓄預金(10万円以上)		0.050	→	
	スーパー定期預金 (300万円未満)	1ヵ月		0.100	▲0.05
		1年		0.250	→
		3年		0.250	→
外貨定期 1年	米ドル		0.120	▲0.16	
	2000米ドル相当額以上	ユーロ	0.250	→	
	3万米ドル相当額未満	豪ドル	1.750	+0.03	
ゆうちょ銀行	通常貯金		0.05	→	
	定額貯金	3年以上	0.250	→	

野村証券

MMF(運用実績)		*	0.246	→	
	外貨建てMMF (運用実績)	米ドル	*	0.333	→
		ユーロ	*	0.436	→
		豪ドル	*	2.425	→

国債

個人向け国債(4月募集終了 次回は6月募集)	固定・5年	0.71	▲0.09
	変動・10年	0.50	▲0.08
	利付国債10年(299回/4月発行)	1.3	→

◆ローン

フラット35は金利に保証料相当分を含む

住宅ローン (三菱東京UFJ銀行)	変動型	2.475	→
	固定・5年	3.650	+0.10
	固定・10年	3.950	+0.20
フラット35	保証型	4.060	▲0.15
	買取型	3.420	+0.12
フラット35(買取型)	21年以上	3.070~4.020	→
	※住宅金融支援機構 発表	最多 3.320	→
20年以下	2.820~3.770	→	
	最多 3.070	→	

追加経済政策の財源を賄うための国債発行増を懸念して長期金利は上昇傾向。それを受けて大手銀は先月に続いて固定期間のある住宅ローン金利を引き上げた。ドル円の為替レートは96円~100円の間で推移。

コラム～★FPのひとりごと★～

資産運用を考えよう！「お金を分けて管理する」



お客様のライフプラン設計をする際のファイナンシャルプランニング上での「夢の達成」における対策は、下記の3つしかありません。・・・魔法はないのです。

それは、

- ・収入を上げる
- ・支出を見直す
- ・資産運用する

※そのため、「資産運用」はライフプラン上では切っても切れない関係にあります。

「資産運用」というとちょっと難しく聞こえますが、ようは収入から支出を引いた貯蓄額をどのように管理していくか？ということです。では、お金ってどうやって管理すればいいの？・・・タイトルの「お金を分けて管理する」ってどういうこと？・・・どうやって分けるの？

その答えは・・・お金を、『期間と目的』によって『色分け（分別）』する。

まずは、今まで蓄えてきたお金（貯蓄）とこれから入ってくるお金（収入）を分別していきましょう。どのような分け方をするかというと、「目的と必要になるまでの期間」で分けていきます。お金を期間と目的に合わせて、より合理的な運用の振りわけを考えていくということです。

今、手元に500万円あるとしたら200万円は当面の生活資金、200万円は10年後に必要な住宅購入資金、残りの100万円はセカンドライフ資金などと、今使うお金、将来のために備えるお金に分別していくということです。

●1年以内に使うお金 【当面の生活費や万が一に備えるお金など】

安全性（元本確保）と流動性（いつでも現金化できる）が必要です。利息はわずかですが、預貯金やMMFなどが向いています。・・・目安としては生活費の3～6ヶ月分

●1年以上5～10年後に必要なお金 【住宅の購入資金や教育資金など】

時間を考慮しながら、中短期の目標のために安全性に重視しながら、必要期間にあわせて貯蓄方法を選択します。利息・利回りをよく考えてのネット定期・こども保険・財形貯蓄・債券（国債や社債等などが向いています。また、中期の期間があれば、若干のリスクをとることも可能です。

●20～30年後に必要なお金 【老後資金・リフォーム資金・将来の夢を叶える資金など】

長期間の時間を活用・味方にして、ある程度のリスクをとりながら、より高い収益性を目指せます。とは言っても大切な財産の運用ですから、リスクとうまく付き合いながら、しっかりリスクを管理しなければなりません。投資信託やREIT・外貨投資などが向いています。・・・私は、短期売買で収益をあげる投機はオススメしません。

自分で付き合い合うことのできるリスクの範囲での運用を心がけ、【長期保有】と【分散投資】などをしながら、「期間と目的」には常に配慮していきましょう。・・・長期運用の場合は、その期間中に目的が変わる場合もありますので。

エフピーエイト ファイナンシャルプランナー
春田孝二

● FPコバさんより「HPにデータ集を作っています。」

ホームページを作って4年になりますが、これまで出来ていないことがありました。データ集です。ご相談があった時は、必ず資料を集めてそれを基に検討しますが、その資料は手帳に記載したままに終わっていました。今回そのうち汎用的なものを、ホームページに『便利なデータ集』として取り纏めつつあります。常に更新です。これはファイナンシャル・プランナーにとっても有益ですが、一般の方にとっても参考になること、請け合いです。是非見て下さい。『コバヤシアセットマネージメント』で検索して下さい。そして意見を下さい。辛口、OKで～す。